

“JAUW 国際女性デー2024 「国連と女性」”を2月3日（土）午後にオンラインで開催しました。会員を中心に28名が参加し、アンケートでは回答者の88.2%がテーマ「国連と女性」について「理解が深まった、あるいはやや深まった」と大変好評でした。

参加された皆さんからは、「最も印象に残ったこと」として、次のようなコメント（抜粋）が寄せられました。

・若い方がとても意欲的であることが一番印象に残りました。神谷様の3つの機関についての説明も丁寧でわかりやすく、理解を深めることができました。

・紙谷さんから、国連がどのように女性のエンパワーメントを実現しようとしているのかお聞きした後で、若手派遣者の吉原佐保さんからは、世界中のユースに日本の現状を伝えた反応を持ち帰り、日本のユースへ発信したい思い、そして、横山浩花さんからは、性教育についての学びへの関心を世界のユースと共有したい思いをお聞きできて、これから世界へと向かうユースの力を感じさせていただきました。

・国連の三つの委員会などについて知り、女性に関するさまざまな問題について、もっと学ばねばならないと感じました。

・ユースの二人が、しっかりと目的をもって参加しておられることが解り大変嬉しく思いました。また、サイドイベントだけでなく、各国の実情が良く解るパラレルイベントにも参加してほしいと思います。国際関係部門は上に行くほどリーンインフェミニズムに絡めとられてしまう方々が多くなりました。ジェンダー平等や女性全般の底上げに尽力する女性リーダーが必要です。

・CSW68 若手派遣者の意欲的な取り組みに頼もしさを感じ、暗い話題の多い中で明るい兆しが見られました。これからがとても楽しみです。

CSW68への二人の若手派遣者には、指導教授の方をはじめ、お励ましの言葉をいただき、ご参加いただきました皆さまに厚くお礼申し上げます。